

Uruujima Presents

20年後の、



セーラー戦士を  
下級妖魔の  
俺が寝とる。

vol.01

R-18  
成人向

どうも、僕です。  
普通のサラリーマンに  
見えるでしょ？でも  
違うんです、こう見えても  
「妖魔」なんです。



妖魔っていうのは…  
まあ平たく言えば  
悪の組織のザコ敵です。

# 20年前

もうね、セーラー戦士  
っていう正義の戦士が  
強いなんのって…  
そりや出会って四秒で  
即死ですよ。

僕の上司なんか  
みんなやられちゃってね。  
びびって逃げてた僕だけが  
なんか生き延びちゃって…  
それからまあ細々と  
人間界で生きてるわけですよ。



こうして汗水たらして  
大変な毎日です。  
はあ大変だよ…  
生き残るってのもほんと…

今日も汗だくになって  
訪問販売中に気づいたんです。  
あれれ、ココらへん  
みたことあるな…って。  
そう思ってたなら…

そんなある日  
です—



# 20年後

いたんですよ！  
忘れもしない  
セーラー戦士が  
二人も！

水野美

あれからもう二十年も  
たつってのに、肌もつやつやで  
これがまたね…  
いい女になってるんですね。

それも幸せそうな  
家庭まで持って！  
あーあのセーラー戦士を  
はらませた旦那が羨ましい！  
俺もあのデカイケツを  
ズッココンパソコンしたいなって！！

櫻待と

お母さん  
ハイハイ〜！

お母さん！！  
サッポーン！



「はあ…肩がこるなあ…  
子供が二人もできてこんな  
胸が大きくなるなんて。  
今度整体にでも行って…」

はあ



…そこで閃いたんですよ。  
「やればいいじゃん」って  
どうせ僕に失うものなんて  
ないわけで…

ふー  
ふー  
ふー  
ふー



ピポーン

「おー」

「あ、どうも…  
あの…えっと…  
出張マツサージを  
やってみて…  
今なら…無料で…」

「うわ…なんか  
怪しい人…  
さっさと断って…  
「あのさあ  
悪いんだけど…」



じ、実はこの方からの  
紹介でして…!!



「せ、先輩…!？」

え、ええあのこの方は  
お得意様なんですけど、  
是非とのこととで  
こちらに伺ったわけでして…

なんだそういう話なら  
先に言ってくればば  
よかったのに。  
じゃあはいりなよ。



やりました!  
まこちゃんの  
ウィークポイントはこの  
「昔憧れていた先輩」なんです  
この先輩が絡むと  
見境がなくなるんです!  
必死に探して盗撮してきた  
甲斐があったものです

いかに懐に  
飛び込むかが、僕に  
とって一番の問題でした  
それを突破した今、  
もう僕のものです…

「しっかり  
頼むよ!」



僕だって妖魔の端くれ、  
いわゆる「特殊能力」  
というものがありません...

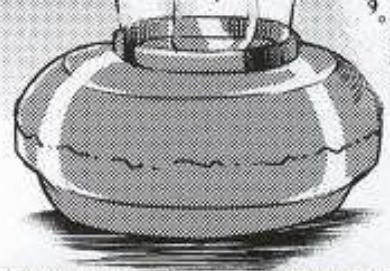


それは僕の体液全てが  
催淫効果を生むというものです。  
まあこんな能力、  
当時は武闘派だった  
セーラー戦士に使う機会なんて  
なかったんですよ。



僕の体液を混ぜこんだ  
特性ローションと  
同じく僕の体液を入れた  
お香を駆使します。

ふわふわ



これをよおおく  
セーラージュビターの、  
まこちやんの肌  
塗りこみます！



ぐちゃ

ぐちゃ



ぐい



にゅにゅ

もみ

くう...  
たまんねえ  
もち肌...

局部じゃないのに  
もうこれがギンギンに  
なっちゃってね。  
今日のために貯めてるので、  
暴発しないよう必死ですよ。

だってあの「美少女戦士」を  
あのセーラー戦士を  
こうしてもみほくして  
もみほくして...  
そりゃたまらんでしょw

お

お

僕の催淫液は即効性が  
高く、五分ほどで  
体が火照ってきます。  
それを十分も  
塗りこんだら…



この通りw  
いやらしい声が  
漏れ出てきます。

セーラー戦士と言っても  
所詮はメス豚だつて  
ことですよ



この催淫剤、  
女としての悦び、つまり  
セックスの経験が  
豊富な方がよく効きます。  
彼女も結婚して子供が  
二人もいるわけですから、  
それなりにセックスして  
きたんでしよう。  
処女膜はぶち破られて  
しまっています…



(力が…  
それに…  
こんなに  
透けて…!?)

「ほーいそれじゃあ  
もーっとローション  
塗りたくって  
いきますよーw」



悔しいけれど  
仕方ありません。  
ですけど、今日からは  
ずいっと僕に夢中に  
なるわけです…  
…くふふ

ん…はい…  
(あれ…力が  
…おかしいな)



「こーんな大きいと肩が  
こるでしょーやっばりねー  
出産を経験した方はこの乳腺を  
刺激してあげないと……！」



なんですすごい…  
乳首だけなのに…  
こんな感じて…!!



下も一緒に  
刺激してあげて、  
相乗効果を  
ねらいますよおー



またイカされてる…!!  
こんな凄い刺激…  
何年ぶり…♥

でも…  
気を強く…  
もたなきや…!!  
こんなんじや…

さあ体も  
ほぐれてきましたし、  
スペシャルサービス  
突入しますねw





ダメ…全然…  
抵抗でき…  
「やめ…ろ  
って…」

「いやいや、  
遠慮なさらずに…」



「どうですかあ？  
スベシヤルサービス、  
気持ちいいですかあ？」

「くそ…  
こんなの…  
で…誰が…」



流石は  
元セーラー戦士。  
普通の女だったら  
この時点で即墮ち  
なんですけどねw

じゃあ  
しっかり  
じつくり  
ねつとりと  
こすりあげて  
あげましようw

「ん…ああはあ…  
ふあああ  
そこやめろお…  
やめ…♡」

「ああ…こが  
いいんですね。  
そろそろそろあ」

「はああああ  
ああんはああ♡♡」



「こ、こんなこととして……  
ただですむと……  
んはあ……おもっ……」

「ええ？僕はただ  
気持よくなつて  
もらいたいただけ  
なんですけどね」

「実際、  
まこちゃん  
もうおまんこ  
グチョグチョの  
べっちょよべちよ  
ですしw」

「まこちゃん……  
だなんて……  
気安く……」



「さあて  
それじゃあ……  
そろそろ……」

「んー？  
嫌なら抵抗して  
くださいよw」  
「ほら、いくぞ  
だすぞ、膣内に  
いくぞっ！」

「やめ……  
それは……  
だ……だ……」



うおおお  
セーラー戦士に  
膣出し!!

子宮に僕の精子を  
染みこませることで、  
決して僕の味を忘れません。  
体の芯から常時  
発情してしまうことになります。



つまり  
まこちゃんはもう  
僕のモノなんです♪



「これ定期サービス  
なんでね。  
お楽しみに…  
ぶひひ」



「それじゃあ今日は  
終わりですけど、  
またすぐに来ますから」

なんて言ってますぐに  
訪問はしません。  
こうして物陰から  
まこちゃんの様子を伺います。

二十年待った僕ですから  
二週間ぐらい……  
楽しみですねえ……グフフ

僕自身が  
濃厚な精液を熟成するため、  
そしてまこちゃんの体に  
染み込むのを待つんです。  
約、二週間。



おニギハヤク  
おニギハヤク

あららw息子の  
イタズラ尻グリグリで  
いきかけてますw



おニギハヤク  
おニギハヤク



ちゃんと常時  
発情期になりつつ  
ありますねw

おニギハヤク  
おニギハヤク

後日、再訪。

「あなた……妖魔ね！  
わ……私の体に  
何を……した……！」



あらら……  
バレちゃいました。  
変身して待ち構えてますよ。  
やばいですね、これ。  
いや、僕ほんとに戦闘力は  
子供以下ですからw

「何を……した……って……  
セックスですよ？  
ああまた僕のアレが  
くわえたくなったんです？」

「たらしめない体しちやって、  
いや僕にはご褒美ですよ？  
そんなムチムチの  
エロエロボディで  
誘ってるんでしょ？」

う、うるさい！！  
消えろ！！  
シューブリーム……

おニギハヤク  
おニギハヤク

ち…からが  
はいらな…

!?

ギン

ま、僕をここまで  
近づけた時点で  
まこちゃんのだ  
敗北確定なんです  
けどねw

ほらここうすくでしよ  
もうね、体が受け入れて  
いるんですよ、僕をね

どくどく  
どくどく

ギョ

ギョ  
ギョ

ま

ドブツ

やめろ…  
そこさわる…  
なあ…

それじゃ早く  
やりましょ？  
家族が帰ってきたら  
困るんでしょ？

く…このまま  
じゃ…また…

ほ  
ほ

あーあーもう  
無茶苦茶  
ですわねw

セーラー戦士が  
キモいおっさんに  
組み伏せられて  
喘ぎ声だして  
恥ずかしく  
ないんですかあ？w

他のみんなは  
今のまこちゃんを見て  
どう思うでしょうね  
他のセーラー戦士  
たちは…w

いうな…  
んあああ  
いうなあ…

ズッ  
ズッ

ぶわ

ピン

はー  
はー

ピン

ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ

ズッ

「この色欲  
ババアがー！」

「つたく…  
お前はもう僕の  
肉便器でしか  
ないんだって  
自覚しろよ？」

この日から  
徹底的に  
ハメまくります W

僕の催淫剤で  
弛緩したケツ穴も  
ズコズコに  
ハメ倒してやります W

二十年后しに  
こうして性奴隷に  
仕立てあげる快感、  
たまりませんか？ W



すっかり遠慮なしに  
アへ顔さらすように  
なりましたw

「ああー！♡♡♡  
もっとはめてえ！！  
もうだめ無理なの！！  
このチンポなしには  
生きていけない♡♡」

はい、セーラー戦士を  
ひとりチンポ潰けに  
してやりましたw



まあね、これは計画の  
突破口でしかありません。  
ここからはまこちゃんに  
協力してもらいます。  
次に狙うのは…

水野亜美、またの名を  
セーラーマーキュリー。  
セーラー戦士のブレイン。  
10300の天才。  
とても僕単体じゃ  
近づけません。



そこでまこちゃんです。  
一緒にお茶を誘ってもらい  
僕の体液をちよつとづつ  
摂取させます。

少量でも体内に  
とりこむことで  
その効果は十分  
発揮されます。

あーまこちゃん  
いやらしい顔してますね。  
まあこれを成功させたら  
屋外調教の約束を  
してあげましたしね。

さ、これも  
時間をおいて  
みると…



十番 Cinema

あら不思議…  
とろんとした目をした  
あみちゃんですw  
やりましたこうなったら  
こっちのものでしようw  
作戦を第二段階に  
シフトし、映画館へ。



ほっほっ



それもそのはず、  
僕の強烈な臭い、  
もとい体液が彼女を  
発情させているんですねえ

あわっ

おやあ？あみちゃんは何  
どうしたんでしょうか、  
息が荒いですw



僕の指示で  
まこちゃんには  
あみちゃんと二人分の席を、  
その隣に僕が座ります。



ギッ

怪訝な反応。  
いいですねえ  
怒りのこもった眼差し。

すっ

割りともう  
怖いものなしです。  
いきなりおさわります

あっ

びびっ

必死に抵抗を  
していますが、手に力が  
はいつてませんね、  
僕でも余裕ですw



ぎゅ



パンティに一気に到着。  
あーコレは駄目だ、  
染みてます。見た  
だけでわかりますw

ここらへんを  
くりくりーって  
してやると…

んーいい表情  
しますね…  
さらに執拗に  
大胆に  
責めまーすw

隣にまこちゃんが  
いるから必死で声を  
我慢してますねw

僕の能力で  
抵抗はできない、  
隣にまこちゃんが  
いるから声もだせない。  
正に、思い通りですw

さあ、あみちゃん  
だけじゃ不公平なので、  
ほくのもさすって  
もらいましょう。

素直に  
あみちゃんの手を  
オナニー道具に  
させてもらいますw

股間をまさぐられながら  
あふれるカウパーが  
手に染みこんで、  
さらにエッチな気分が  
高揚しているはずだ。





一気にきめて  
しましましょう！

あみちやん、  
映画館内で  
無言絶頂ですw



まったく、  
チョロく  
もんです！

おや、予想通り  
手を洗いにフラフラに  
なりながらトイレですわね

ここで  
仕留めますw  
二人目も楽勝ですw

ピカッ

マーキュリー！  
パワー！  
メイクアップ！

あなたから離れたら  
少しマシになったわ…  
やはり妖魔ね…！  
許さない…！

あ、これ  
まずいです。

ド

は、  
は、

は、

ブルブル

ブル

シャインアクア  
イリュージョン！

ド  
ド  
ド  
ド  
ド  
ド  
ド  
ド

水でもかぶって  
反省しなさい！

カッパッ…  
カッパッ…  
カッパッ…

妖魔がまだ  
生きてたなんて…  
くっ…ため…  
発散させないと…

ふっ



おやおや僕が  
死んだと思つて  
オナニーはじめ  
ちやいましたよw

まだ生きてるん  
ですけどおw  
まあこんな旨そうな  
肉が前にあつても、  
今は手も足も  
出せない状態  
なんですけどね…

まあ僕も彼女を  
少し甘く見すぎて  
すつかりやられて  
しまいました。

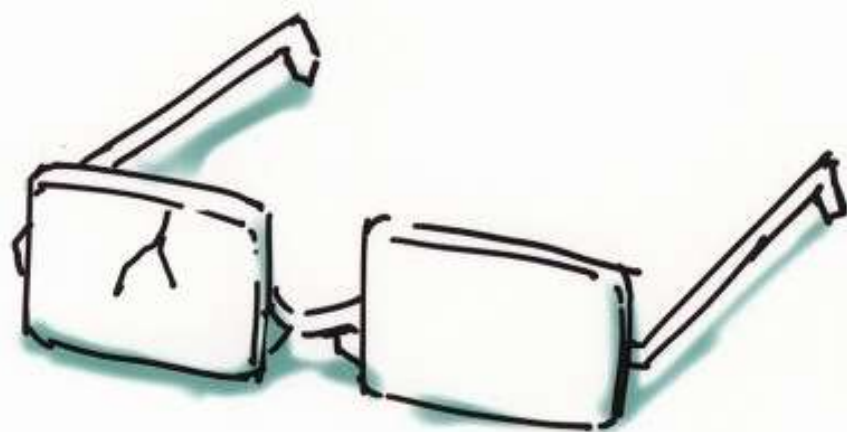
こんな雑魚の僕が  
生き残つたのは、  
まこちゃんから  
セーラー戦士の  
エナジーを吸いまくつた  
からでしょうね。

あみちゃんに  
染み付いた臭いは  
そうそう消せません。  
僕の復讐劇はまだまだ  
はじまつたばかり…

おまじ

新しい力も手に入れて  
ふふふ…まだまだ  
楽しめそうです…

To be continued...



Uruujima presents  
vol.13

2014 summer.

for adult only